

図書館だより

定例おはなし会

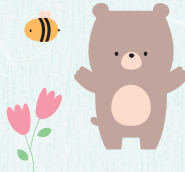
内容 絵本などの読み聞かせや手遊びなどをしています。
お気軽にどうぞ!

日時 6月10日(土)午後3時
・おじさんのかさ(絵本)
・たちだいすき(大型絵本)

6月17日(土)午後3時
おはなしボランティアゆいゆい担当
・そうなのよ(絵本)
・おとうさんといっしょ(紙芝居)

6月24日(土)午後3時
・ことばとふたり(絵本)
・いつもぎゅっとそばに(絵本)

場所 沖縄市立図書館 おはなしの部屋



対面朗読のお知らせ

内容等 音訳ボランティアによる対面朗読。音訳ボランティア『そよかせ』の方々が、視覚に障がいがある方、読書が困難な方へ声でサポートします。

日時 毎月第2金曜日
午前10時30分～11時30分

場所 沖縄市立図書館 読書サポート室



お問い合わせ 沖縄市立図書館

TEL:098-929-4919



▲ホームページはこちら

くがにんちゆ 今月の「黄金人」 みやわし会の皆さん



宮里老人会が中心となり活動している「みやわし会」の皆さんは、毎朝9時(日曜日以外)から宮里公園にてラジオ体操とゲートボールを行い、毎日の活動以外にも道路清掃ボランティアや友愛訪問(見守り)、勉強会など様々な活動に勤しんでいます。会長の宮城武松さん(77歳)は「一番の健康の秘訣はゆんたくだよ～」と教えてくれました。

宮里老人会が中心となり活動している「みやわし会」の皆さんは、毎朝9時(日曜日以外)から宮里公園にてラジオ体操とゲートボールを行

取材当日、久しぶりに会に参加された方を会の皆さんが囲み「みんな心配していたよ～」と優しく声をかける様子が印象的でした。「子どもにはデイサービスに行っているとされているけど、ここで仲間とゆんたくするのが一番の楽しみだよ」と会での交流が日々の楽しみや健康の源になっている様子が伺えました。

ゲートボールで汗を流した後は、和気あいあいと差し入れのサーターアングギーを頬張る皆さん。素敵な笑顔が輝いていました。



※「くがに」とは、大切なものが輝いているさま。「くがにんちゆ」=輝いている人

介護保険課 地域支援担当 (内線3142)

こちら沖縄市立郷土博物館

かたばる まちと潟原、にぎやかで静かな泡瀬

文化財調査報告書『泡瀬のわらべ歌』をこの3月に無事刊行しました! 今回の報告書に載せた歌で私が好きなのは「片爪蟹ぐわー」です。

♪泡瀬潟原ぬ片爪蟹ぐわー、むる足ちんうてい……と始まるこの歌は、干潟のカニが足を折り、一門そろって医者にかかると歌います。登場するカニはシオマネキの類でしょう。歌詞は潮が引くとぞろぞろ現れて大きな爪を振るカニたちの生態をユーモラスに活写しています。一方でメロディは、明るくのびやかですがどこか哀調も帯び、滑稽な詞に広がりりと深みを与えています。

戦前の泡瀬は船着き場があり、馬車が通い、料亭も劇場もある「まち」でした。人が行き交い歌も流れるまちのにぎわいは、波と風の音だけが静かに続く干潟と隣り合っていて、どちらも泡瀬の人々にとって生活の場でした。そんなかつての泡瀬の情景が、歌を口ずさむたび心に広がるような気がします。

文化財調査専門員
八田夕香



現在の泡瀬干潟

沖縄市立郷土博物館 TEL:098-932-6882

博物館
コラム

